

1 市民グループと行政の協働の推進

1-1 今後の「わかやまの底力・市民提案実施事業」について、これを住み良い豊かなまちを創り地域振興につながる重要政策と位置付け、積極的な予算の拡充を提案いたします。

(回答)

昨年12月に総務省から地方財政健全化法の各財政指標が示され、本市は財政健全化団体となる可能性が濃厚であることから、平成20年度当初予算編成においては、歳出全般における見直しを行い、例外を設けず、前年度における各局当初予算の一般財源の85%を越えない範囲で予算編成を行うという非常に厳しい状況となっていることをまずご理解いただきたいと思います。

ご指摘の「わかやまの底力・市民提案実施事業」については、重点施策の一つと位置付けており、局内において予算配分の創意工夫をする中で重点的に取り組むよう努めているところです。

1-2 市民グループと行政の協働の具体的な仕組みづくりや、NPO等の育成・支援の環境づくりに向けて、「市民グループと行政の協働を推し進める条例（仮称）」の制定を提案いたします。

(回答)

公共サービスを担う新しいシステムを構築していくために、現在、今年度中の完成を目標に、「市民活動グループと行政の協働の指針」（仮称）の策定に取り組んでおり、当該指針の完成後は、指針に基づきNPOやボランティア活動等の市民活動（以下、「市民活動」という。）の推進諸施策に取り組んでいくこととなります。

市の発展には、和歌山市全体が一丸となって相互に補完し合いながら、まちづくりに当ることが重要であることから、市民と行政の協働をさらに推進し、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するため、御指摘の条例の制定も視野に入れながら、効果的な手段について検討してまいりたいと考えております。

2 NPO拠点の充実発展

2-1 「和歌山市NPO・ボランティアサロン」のより一層の充実（スペースの拡充を含む）と専門的人材の拡充を提案いたします。

(回答)

市民活動をさらに活発化していくためには、活動拠点を確保することも非常に重要であると考え、平成17年6月に多くの会議室を有する現在の寄合町にNPO・ボランティアサロンを移転しました。このことにより、以前にもまして多くの方々に会議や活動の場として利用していただいています。

今後、さらに、団体と市民、団体間の交流など、ネットワークの拡大のために活用していただけるように、サロンの機能的な充実に努めるとともに、専門的人材の育成にも取り組んでまいりたいと考えております。

2-2 NPO・ボランティアに関わる人材の育成、事業運営に関する講座を開くなど、ソフト面での事業を市主催の事業として実施されることを提案いたします。

(回答)

市民活動を活性化し継続していくためには、市民活動の担い手の育成や将来的に市民活動を支えていく人材の確保が重要となると認識しております。

今後、各関係機関とも連携を取る中で、人材育成や講座開催等、学習機会の提供などを行うことにより、市民活動を支える担い手づくりに努めたいと考えております。

2-3 現在のNPO・ボランティアサロンを中心市街地などの多くの市民が行き交う場所で、気軽に出入りができるような場、例えば「フォルテWAJIMA」等への移転を提案いたします。

(回答)

市民活動に対して、より多くの人の興味・関心を引くために、中心市街地や駅前等、市民が多く行き交う場所にサロンを設置することは非常に有効な手段であると考えます。

ご指摘の中心市街地等への移転につきましては、現在の財政状況を鑑みながら検討してまいりたいと考えております。

3 定期的な情報交流会

3-1 市民とこれら各セクターが定期的集まり、協力・連携し、和歌山市の将来について議論し情報交換ができる「市民活動団体連絡協議会（仮称）」の設置を提案いたします。

(回答)

和歌山市を構成するあらゆる主体が一堂に会し、和歌山市の将来について議論することは非常に意義深いことであると考えます。

ご指摘の協議会の設置については、協働が浸透し、新たな主体による地域に合った独自の公共サービスが提供されるためには必要不可欠であると考えられますので、今後検討していきたいと考えております。